

2023年度

広島学習センター・福山サテライトスペース

利用の手引き



放送大学

目 次

学習センター・サテライトスペース	1
利用できる人	
主な業務	
開所日と利用時間	
2023年度 学年暦	3
広島学習センターの教職員	4
事務室の窓口業務	5
学生証の発行	
住所等の変更	
各種証明書の発行	
学割証	
学生教育研究災害傷害保険	
奨学金	
視聴学習・図書室	7
図書の利用	8
学習上の注意事項	9
学生証	
学習スケジュール	
通信指導	
単位認定試験	
科目登録申請	
面接授業科目の登録	
学習システム（教養学部）・（大学院修士課程）	
放送大学附属図書館が提供するサービス（抜粋）	
授業への質問方法ほか	
※カリキュラム変更について（2015年度以前入学生の方へ）[参考情報]	
システムWAKABA（教務情報システム）への接続について	15
諸届けの提出先	16
課外活動	17
学生団体（サークル）活動	
学習センター・サテライトスペース事業等	18
公開特別講座	
卒業研究事前支援	
学習相談	
機関紙の発行	
諸行事	
施設使用	
施設の案内	19
案内図	22
2023年度カレンダー	24
放送教材(DVD・CD)の郵送貸出について	28

学習センター・サテライトスペース

学習センター及びサテライトスペースは、学生の学習の場、ふれあいの場として有意義な学生生活を送るための施設です。

施設の利用に当たっては「学生生活の栞」と併せ、この「利用の手引き」をよく読んで、積極的に利用してください。

なお、この「利用の手引き」の電子データを広島学習センターのウェブサイトにPDF形式で掲載しています。

●利用できる人

- 1 本学の学生
- 2 学習センター所長が許可した者

●主な業務

- 1 面接授業及び単位認定試験に関すること
- 2 学生からの学習上の相談に応じること
- 3 図書・各種辞典等を備え、学習の参考に供すること
- 4 放送番組再視聴の機会を提供すること
- 5 学生に対する各種証明書の発行に関すること
- 6 課外活動・グループ学習等のための施設使用に関すること
- 7 学生旅客運賃割引証の発行（全科履修生、修士全科生、博士全科生のみ）
- 8 その他学生の福利厚生に関すること



面接授業



視聴学習

●開所日と利用時間

○広島学習センター

期 間	曜 日	センターの開所時間	視聴学習・図書室の利用時間
全学期間	火曜～日曜日	9：30～18：00	

証明書等の申請

窓口受付時間	申請内容
17:00 まで	各種証明書、学生証再発行、文献複写、他大学図書の受け渡し等
17:30 まで	学生教育研究災害傷害保険加入の申請、面接授業追加登録申請

○福山サテライトスペース

期 間	曜 日	サテライトスペースの開所時間	視聴学習・図書コーナーの利用時間
全学期間	火曜～金曜日	9：30～18：00	
	土曜・日曜日	9：30～17：30	

閉 所 日	毎月曜日 国民の祝日に関する法律に定める祝日 年末・年始（12月29日～翌年1月3日） 学長又は学習センター所長が特に必要と認めた日（8月12日・13日・15日、12月26日～28日）
備 考	○学習センターの開所日及び利用時間は、学習センター毎に地域の実情に応じて異なりますので、所属以外の学習センターを利用の際は注意してください。 ○天災、機器の整備、図書の整理等により、臨時に利用時間の変更や閉所する場合は、ウェブサイトや掲示板に掲載します。 ○コロナ禍の影響で、開所日・開所時間・行事等の実施日が急きょ変更となる場合がありますので、ご注意ください。

2023年度 学年暦

第1学期（4月～9月）

項 目	日 時
放送授業期間	4月 1日（土）～ 7月14日（金）
夏期学習期間	7月15日（土）～ 9月30日（土）
オンライン授業	4月 5日（水）～ 8月31日（木）
面接授業	4月15日（土）～ 7月30日（日）
面接授業科目追加登録	4月20日（木）～ 7月16日（日） （科目毎に締切日が異なります。）
通信指導提出期間 （Web通信指導提出期間）	5月16日（火）～ 5月30日（火） （5月9日（火）10:00～5月30日（火）17:00）
単位認定試験（学部・大学院）	7月15日（土）～ 7月25日（火）
次学期放送授業・オンライン授業・面接授業科目登録	8月15日（火）～ 8月30日（水）・web31日（木）

第2学期（10月～3月）

項 目	日 時
放送授業期間	10月 1日（日）～ 1月20日（土）
年末・年始学習期間	12月29日（金）～ 1月 4日（木）
冬期学習期間	1月21日（日）～ 3月31日（日）
オンライン授業	10月 5日（木）～ 2月29日（木）
面接授業	10月14日（土）～ 1月28日（日）
面接授業科目追加登録	10月19日（木）～ 1月14日（日） （科目毎に締切日が異なります。）
通信指導提出期間 （Web通信指導提出期間）	11月15日（水）～ 11月29日（水） （11月8日（水）10:00～11月29日（水）17:00）
単位認定試験（学部・大学院）	1月16日（火）～ 1月24日（水）
次学期放送授業・オンライン授業・面接授業科目登録	2月13日（火）～ 2月28日（水）・web29日（木）

※この学年暦は、予定であり、変更となる場合があります。

広島学習センターの教職員

所 長

吉 村 幸 則

広島大学名誉教授

専門：動物生産科学

客員教員

●生活と福祉

藤 村 昌 彦

広島都市学園大学健康科学部 教授

専門：ヘルスプロモーション、高齢者の介護予防、リハビリテーション

三 根 和 浪

広島大学大学院人間社会科学研究科 准教授

専門：表現教育論、鑑賞教育論

●心理と教育

小宮山 道 夫

広島大学森戸国際高等教育学院 准教授

専門：教育史学、アーカイブズ学

坂 田 省 吾

広島大学名誉教授

専門：学習心理学、生理心理学

澤 田 英 三

安田女子大学心理学部 教授

専門：発達心理学、フィールド研究の方法論

中 島 健一郎

広島大学大学院人間社会科学研究科 准教授

専門：社会心理学、教育心理学

平 野 晋 吾

福山市立大学教育学部 准教授

専門：生理心理学

●社会と産業

権 俸 基

広島文化学園大学名誉教授

専門：国際経済学

西 谷 元

広島大学名誉教授

専門：国際法、国際機構法

●人間と文化

勝 部 眞 人

広島大学名誉教授

専門：日本近代史

大 野 英 志

広島大学大学院人間社会科学研究科 教授

専門：英語史、中世英語英文学

●情報

中 田 美喜子

元 広島女学院大学 教授

専門：教育工学、情報教育、教育心理学

●自然と環境

三本木 至 宏

広島大学大学院統合生命科学研究科 教授

専門：微生物学、蛋白質科学

事務職員

(広島学習センター)

事務長

下 田 修 二

総務係長

中 村 浩 之

主任

岡 村 行 雄

係 員

福 原 亜由美、川 崎 和 子、田 上 美 和、

門 田 真 紀、渡 邊 理 奈

(福山サテライトスペース)

主任

神 原 大 造

係 員

前 原 孝 子、辰 原 朋 江

事務室の窓口業務

●学生証の発行

学生証は、出願時に提出した写真票又はシステムWAKABA（教務情報システム）に登録された写真データにより、所属の学習センター、サテライトスペースで発行します。学生証の有効期限は、全科履修生は2年間となり、更新が必要です。

新しい顔写真のデータ登録をお願いします。詳細は、「学生生活の葉」（大学院P24/教養学部P18）の「学生証」欄を確認してください。

なお、学生証を紛失した場合、汚損等により使用不能となった場合又は氏名の変更があった場合は、速やかに再発行の手続き（有料）を行ってください。

●住所等の変更

住所等に変更があった場合は、速やかに「住所等変更届」を提出してください。また、各種変更手続きは、変更内容・学生の種類によって提出先が異なります。

一部の事項を除き、システムWAKABAでの届出もできます。

本手引きP16又は「学生生活の葉」（大学院P81/教養学部P84）を参照の上、手続きを行ってください。

●各種証明書の発行（窓口受付は17時締切）

在学証明書、成績・単位修得証明書、卒業証明書等が必要な場合は「学生生活の葉」巻末の「諸証明書交付願」を事務室窓口に出してしてください。手数料は1通につき200円です。郵便で請求される場合は、「諸証明書交付願」、発行手数料（現金（必ず「現金書留」扱いにすること）又は郵便定額小為替証書）、返信用封筒（長形3号（120×235ミリ）に必要額の切手貼付、宛名明記）を同封して学習センターに送付してください。

次表に記載の証明書のうち、①～⑥はすぐに発行できますが、⑦～⑨の発行には数日を要するものもあるので、余裕をもって申請してください。

証明書の種類		証明書の内容
①	在学証明書	現在在学していることの証明
②	成績・単位修得証明書	現在までに修得した授業科目の単位数及び評価の証明
③	卒業（修了）証明書	卒業（修了）したことの証明
④	卒業（修了）見込証明書	卒業（修了）する見込みであることの証明
⑤	在学期間証明書	在学した期間の証明
⑥	履修証明書	現在履修している科目等の証明
※⑦	教員免許状申請用単位修得証明書	教員免許状に関する授業科目の単位数の証明
※⑧	資格関係の単位修得証明書	各資格に関する授業科目の単位数の証明
※⑨	大学院（大学院博士後期課程）受験のための調査書	大学院（大学院博士後期課程）を受験するための基礎資格等の証明
⑩	単位認定試験受験証明書	受験をしたことの証明

※⑦～⑨の発行には数日程度時間を要するものもあります。

●学割証

JRの一般普通回数乗車券（11枚綴り、片道区間が200km以内の場合）及び学生割引普通乗車券（片道区間が100kmを超える場合）を2割引で購入できます。

全科履修生、修士全科生、博士全科生（休学中の学生を除く）を対象に発行されます。所属学習センター・サテライトスペース又は大学本部等に通学・面接授業に参加する場合に利用できます。

交付を希望する方は、所定の発行願に必要事項を記入し、学生証を添えて事務室へ申し込んでください。

●学生教育研究災害傷害保険

教育研究活動中の不慮の災害事故補償のために、学生教育研究災害傷害保険の制度がありますので、万一の事故に備えて保険への加入を勧めています。加入を希望する方は事務室へ申し込んでください。

○保険料及び保険期間

学生教育研究災害傷害保険	保険料：100円	保険期間：6年間（在学中）
通学中等傷害危険担保特約	保険料：40円	保険期間：6年間（在学中）
学研災付帯賠償責任保険	保険料：340円（年額）	保険期間：4月入学生：翌年3月31日 10月入学生：翌年9月30日

●奨学金（教養学部について記載していますが、修士全科生・博士全科生対象もあります）

奨学金に関する案内や申請については、事務室で行っています。

○日本学生支援機構奨学金

ア) 対象学生：全科履修生で、奨学金出願学期（6月上旬、12月上旬まで）の面接授業を履修している方。

イ) 募集時期：各学期ごとに募集します。（4月下旬、10月下旬ごろの予定）

ウ) 貸与期間：採用された年度限りです。次年度にも出願できますが、全在籍期間で4回の貸与が限度です（入学年次によって4回の貸与を受けられないこともあります）。

エ) 貸与額：

第一種（無利子）：88,000円

第二種（有利子）：20,000円・30,000円・50,000円・80,000円・100,000円・120,000円から選択。第一種と第二種の併用も可能です。

奨学金の貸与は、年1回限りです。毎月貸与されるものではありません。

○北野生涯教育振興会奨学金（放送大学選科履修奨学生）

ア) 対象学生：選科履修生（4月入学者のみ対象）

イ) 給付額：1名当たり年額70,000円で、1年限りです。返還の必要はありません。

ウ) 給付条件：第1学期末に「状況報告書」、第2学期末に「論文」を提出します。

エ) 申請手続：財団に希望者が直接行います。申込期日は例年4月ごろです。

* 詳しくは事務室前の掲示板に掲示するポスター等で確認してください。

視聴学習・図書室

視聴学習・図書室（福山サテライトスペースでは視聴学習室という（以下同じ））には、学生用のパソコンを設置していますので、ご自宅でBS放送が受信できない又はインターネット環境がない場合には、こちらで視聴することができます。

また、履修科目以外の科目も視聴もできます。

放送教材の視聴について・・・・・・・・・・・・・・・・

- 1 視聴したい教材を保管棚から取り出してください。視聴学習・図書室では履修中の科目はもちろんのこと、その他の教材も自由に視聴できます。
- 2 教材は1本ずつ利用してください。視聴後は、元の場所に納めてください。
- 3 2019年度の教養学部新規開設科目から、放送教材（DVD・CD）のセンター内配架を行っていません。（大学院は2018年度新規開設科目から配架していません）
- 4 放送教材が配架されていない科目を学習センター内で視聴したい場合は、視聴学習・図書室内の放送授業視聴用パソコン及びパソコン実習室設置のパソコンから放送授業のインターネット配信をご利用ください。また、福山サテライトスペースでは視聴学習室で利用できます。

放送教材の貸出について・・・・・・・・・・・・・・・・

放送教材の貸出は放送大学本部にて一括して行っていますので、貸出を希望する場合は、本手引きP28又は「学生生活の葉（大学院P44～/教養学部P32～）」を確認のうえ手続きをしてください。

機器の操作・放送教材の取扱い・・・・・・・・・・・・・・・・

- 1 放送教材（DVD・CD）はデリケートです。指紋や手あか等のあぶら汚れでも読み取りができなくなりますので、丁寧に取り扱いってください。
- 2 誤った操作をすると、放送教材（DVD・CD）を損傷したり、機器が故障することがありますので丁寧に取り扱いってください。
- 3 原則、ヘッドホン・イヤホンの貸出はしておりません。ご自身でヘッドホン・イヤホンをご持参ください。
- 4 わからないことがあれば職員に尋ねてください。

★遵守事項★

- 1 放送教材（DVD・CD）は、その内容を変更又は複製したり、第三者に譲渡若しくは貸与することはできません。
- 2 放送教材（DVD・CD）を紛失、損傷させると、他の利用者に迷惑がかかるので、取扱いには十分気を付けてください。
- 3 放送教材（DVD・CD）を紛失、損傷させた場合は、その損害を弁償していただきます。
- 4 視聴学習・図書室での飲食及び子ども連れでの入室は禁止します。
- 5 食事、休憩等で長時間席を離れるときは、他の利用者也利用できるよう協力してください。土曜日・日曜日及び単位認定試験期間中などは、利用者が大変多いため特に配慮をお願いします。
- 6 携帯電話等の室内使用は、学習している他の利用者に迷惑がかかります。電源を切るか、マナーモードにしてください。

図書の利用

1. センター及びサテライトスペースが所蔵する図書資料の貸出終了について

2019年度から図書資料の貸出を終了しました。

貸出は終了しましたが、視聴学習・図書室内において閲覧することは従来どおりできます。

なお、広島学習センター及び福山サテライトスペース内に配架する図書は、面接授業や放送授業に関連するもの、所長が特に必要と判断するもの及び各種辞典、辞書等に限定しています。

2. 図書資料の利用について

放送大学が所蔵する図書資料にとどまらず、他大学等が所蔵する図書資料を利用することがあります。

なお、申込みは、次に説明する蔵書検索システムの「OPAC」から行ってください。

また、詳細は放送大学附属図書館のウェブサイトを確認してください。

(1) 放送大学内の図書資料を探す

蔵書検索システムの「OPAC」又は「ディスカバリーサービス」で放送大学が所蔵する図書館資料（図書・雑誌・電子ジャーナル・各種データベースなど）を網羅的に検索することができます。

また、「OPAC」では、借用している図書の利用延長、貸出中図書の利用予約、借用する図書の自宅への取寄せ等の申込みができます。

(2) 本部図書館が所蔵する図書資料の利用

図書の借用及び雑誌等の複写物をセンター図書室へ取寄せすることができます。

（図書の借用は無料、なお、複写物は有料、送料は無料）

なお、修士・博士全科生と学部全科履修生が対象ですが、本部図書館にある図書を往復分の送料の利用者負担で自宅へ取寄せすることもできます。

(3) 他大学等が所蔵する図書資料の利用

放送大学が所蔵しない図書資料の借用及び雑誌等の複写物をセンター図書室へ取寄せすることができます。

（図書の借用は貸出館から本部図書館までの送料は利用者負担。また、複写物（送料含む）は有料）

(4) 情報検索ツール、各種データベースの利用

蔵書検索システムの「OPAC」以外にも学生が利用出来る情報検索ツールや各種データベースを放送大学附属図書館のウェブサイトで提供していますので、それらを利用し必要な情報を入手してください。

(5) 近隣図書館の利用

広島学習センター及び福山サテライトスペースの近隣には大学図書館、公共図書館があり、それぞれが独自のサービスを提供しています。

利用者が探している情報入手のために相談に乗ってくれる「レファレンス・サービス」を行っています。詳細は各図書館へお尋ねください。

3. 無線LAN接続サービスについて

全国の学習センター・サテライトスペース内で、個人のパソコンやスマートフォン、タブレットを無線LANに接続することができるようになりました。

無線LANを利用される方は、次の3点を事務室へ持参し、利用アカウントを申請してください。

なお、アカウントの交付には、2日程度時間を要します。

- ☒ 無線LAN利用申請書（学習センター事務室に申請用紙があります。）
- ☒ 学生証
- ☒ 情報セキュリティ研修（学生用）修了証

※システムWAKABAの放送大学自己学習サイトで情報セキュリティ研修(学生用)を受けてください。研修を修了されると修了証が発行されます。

学習上の注意事項

※詳細は放送大学ウェブサイトの説明がありますのでそちらで確認してください。

掲載場所：放送大学ウェブサイト→【在学生(WAKABA)】→『新入生のための学び方ガイダンス』

●学生証

学生証の交付



所属の学習センター・サテライトスペースで**各自が交付を受けてください。**

注) 来所が困難な方は、入学月(4月、10月)に発行する機関誌(往還ノート)で郵送の請求方法を説明しています。

●学習スケジュール（放送大学は2学期制で、授業はそれぞれの学期で完結）

Step 1 放送授業開始、オンライン授業配信・面接授業開始（4月、10月）



●通信指導

Step 2 通信指導の答案提出（オンライン授業は一部の科目で実施）



○受験している科目の一定の範囲から課題を出題
○解答を提出して担当教員の添削指導を受ける

《通信指導提出期間》

第1 学期			
【WEB】	2023年	5月 9日 (火)	10:00
	～	5月30日 (火)	17:00
【郵 送】	2023年	5月16日 (火)	
	～	5月30日 (火)	必着
第2 学期			
【WEB】	2023年	11月 8日 (水)	10:00
	～	11月29日 (水)	17:00
【郵 送】	2023年	11月15日 (水)	
	～	11月29日 (水)	必着

郵送またはシステムWAKABAの「Web通信指導」から提出してください。
Webで提出した場合、直ちに結果を確認でき、解説も閲覧できます。

Step 3 通信指導提出後に届くもの

- 1) 「通信指導の添削結果」
 - 2) 単位認定試験の1週間前まで 「単位認定試験通知（受験票）」
- ☆よく読んで試験に備えてください。

●単位認定試験

Step 4 単位認定試験受験

自宅のパソコン等を利用して解答を送信するWeb試験（一部科目は郵送試験）で実施されます。

大学本部から届いた資料をよく読み、大学ウェブサイトで公開中の「体験版」で操作方法を確認のうえ受験してください。

「Web単位認定試験」を体験できます

実際に受験で使用するシステム「Web単位認定試験システム」の体験版を公開しています。
実際の試験とほぼ同様の操作を体験してみてください。

Web単位認定試験体験版
<https://shiken-open.ouj.ac.jp/>

Web単位認定試験体験版（ゲスト用）

2022年度第1学期 単位認定試験

【試験科目】 漢学の基礎知識

2022.5.2 システム一般設けの告知

・試験開始タイマー・回答進捗率に設定するようになりました。

・試験結果入力欄に修正が可能なようにしました。

Web単位認定試験体験版（ゲスト用）では、ご自身の受験科目のWeb単位認定試験を受けることはできません。

3. 受験 必ず事前に試験開始時刻までに、ご自身の学生番号で、Web単位認定試験システム（ShikenOpen）でログインしてください。

詳しくは、画面左側の「リンク集」→「0 試験ガイド（必須）」から、操作ガイドをご覧ください。

Step 5 「成績通知書」等の送付

成績評価は、④、A、B、C、D、Eの6段階評価です。

評価「C」以上が合格、「D」、「E」は不合格です。

※放送授業の試験での欠席・不合格の場合は、条件により再試験を受験できます。

●科目登録申請

Step 6 科目登録申請

この冊子が届いたら、次の学期の科目登録申請を行います。

（インターネットでも申請できます。）



【同封されている冊子類】

『授業科目案内』

『全国の面接授業開設科目一覧』

『面接授業時間割表（中国・四国地区ブロック版）』

●面接授業（学習センター等で直接教員から指導を受ける授業形式）科目の登録

面接授業の登録

◆この学期

▶空席を確認したうえで
「追加登録」という形で申請

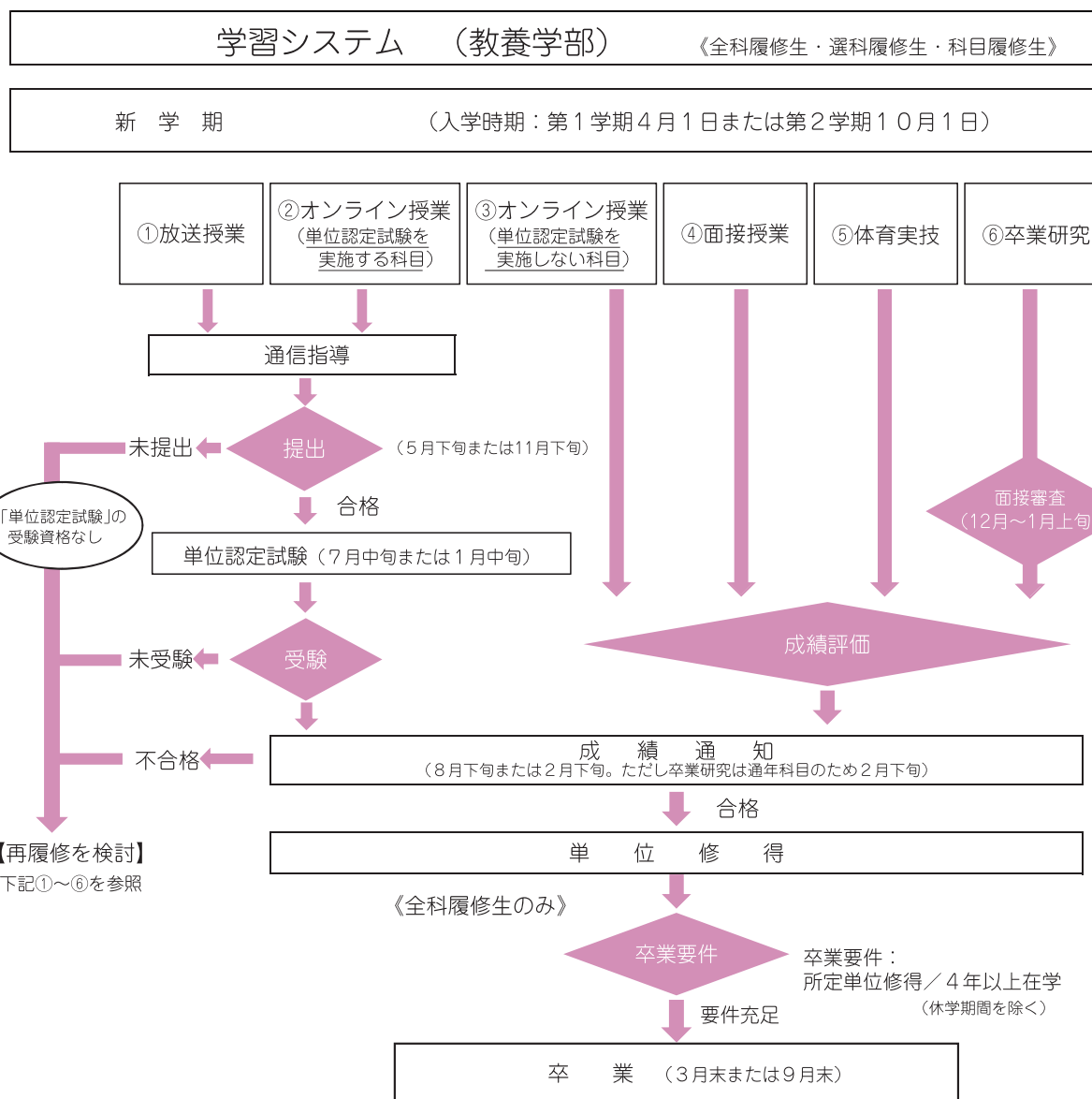
◆次の学期（学籍が継続している方）

▶次の学期の科目登録申請と同時に
面接授業も登録

登録前の確認

- ・授業全日程に出席可能か？
- ・「教科書」の指定がある場合は、教科書の入手が必須です。
- ・「学生教育研究災害傷害保険」加入対象科目は、授業日前日までに加入手続きが必須です。

●学習システム



①放送授業

テレビやラジオ、インターネットで受ける授業です。学生専用サイト（システムWAKABA）では、ほとんどのテレビ科目と全てのラジオ科目をインターネット上で配信しています。

単位を修得できなかった場合は、次学期に引き続き学籍がある場合に限り、再試験を受けることができます（通信指導未提出の場合は、次学期に提出し合格することにより、再試験の受験資格が得られます）。

なお、再試験に係る科目登録及び授業料は必要ありません。

④面接授業

学習センターやサテライトスペース等で教員から直接指導を受ける授業（スクーリング）です。

1科目あたり1単位修得できます。

また、受講申込み時期にご注意ください。定員に空席がある場合は学期途中に追加登録を行うことができます。

なお、再試験はありません。（次学期にも同じ科目が開設されるとは限りません。）

②・③オンライン授業

インターネット上で提供される諸情報による双方向性を生かした学修を行います。この授業の受講はインターネットを利用出来る環境が必要です。

詳細は、授業科目案内の「オンライン授業について」等でご確認ください。

なお、②オンライン授業（単位認定試験を実施する）科目については、次学期に学籍がある場合に限り再試験を受けることができますが、③オンライン授業（単位認定試験を実施しない）科目については再試験はありませんので、不合格の場合は再度科目登録の必要があります。

⑤体育実技

全科履修生のみ受講することができます。必須科目ではありません。履修を開始する学期が始まるまでに科目登録をしてください。科目登録後は在学期間中有効です。

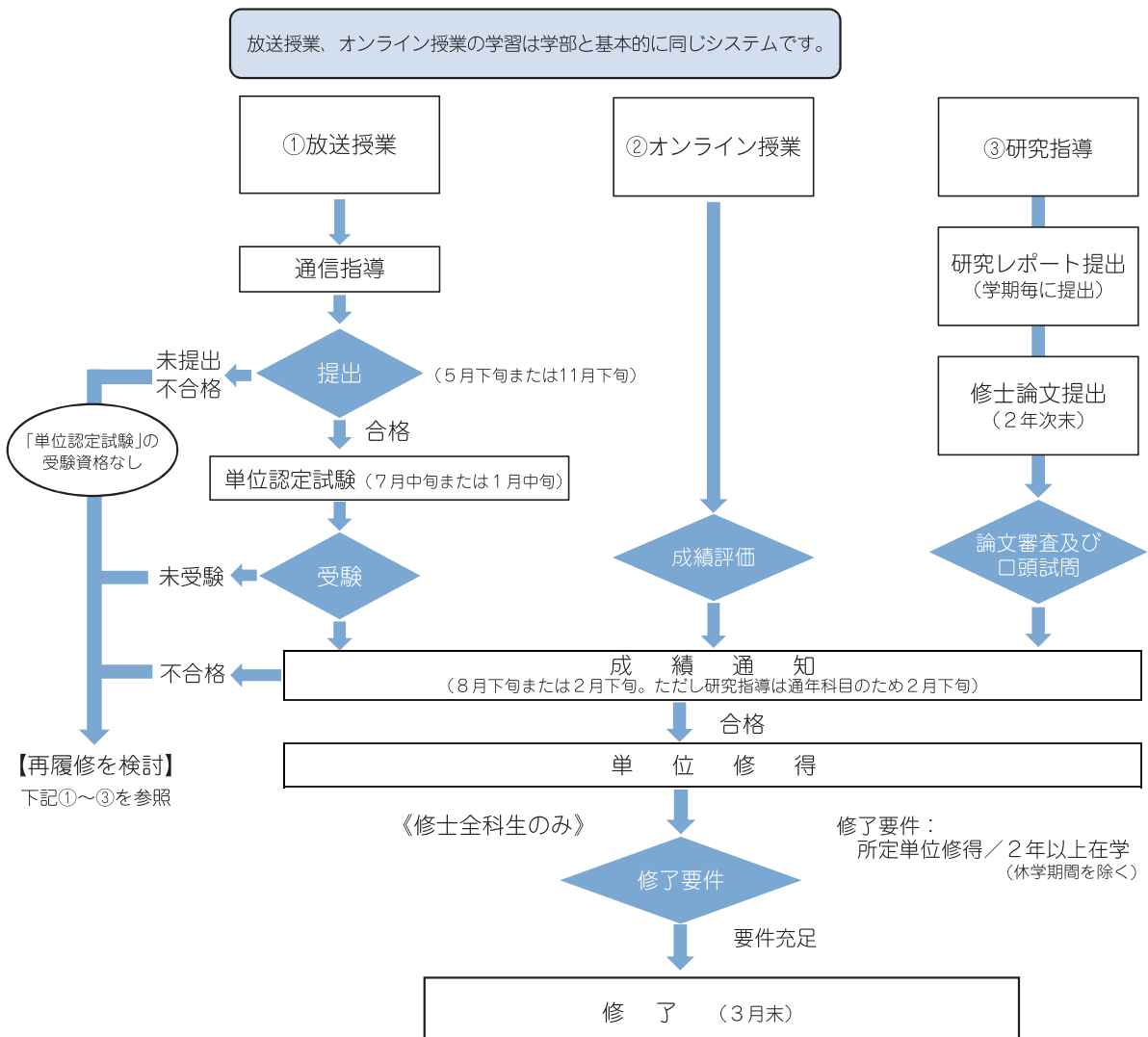
⑥卒業研究

全科履修生のみ受講することができます。必須科目ではありません。卒業研究は通年科目（6単位）で、4月から開始します。申請時期は履修する前年度8月中旬です（申請要件があります）。

学習システム（大学院修士課程）

《修士全科生・修士履修生・修士科目生》

新 学 期（入学時期：第1学期4月1日または第2学期10月1日。ただし、修士全科生は4月入学のみ）



①放送授業

テレビやラジオ、インターネットで受ける授業です。
学生専用サイト（システムWAKABA）では、ほとんどのテレビ科目と全てのラジオ科目をインターネット上で配信しています。
単位を修得できなかった場合は、次学期に引き続き学籍がある場合に限り、再試験を受けることができます（通信指導未提出の場合は、次学期に提出し合格することにより、再試験の受験資格が得られます）。
なお、再試験に係る科目登録及び授業料は必要ありません。

②オンライン授業

インターネット上で提供される諸情報による双方向性を生かした学修を行います。この授業の受講はインターネットを利用出来る環境が必要です。
詳細は、授業科目案内の「オンライン授業について」等でご確認ください。
なお、オンライン授業科目については再試験はありませんので、不合格の場合は再度科目登録の必要があります。

③研究指導

修士全科生のみ受講することができます。
修士全科生の必須科目（通年科目8単位）です。
研究指導の再履修については入学時に配付される「履修の手引き」にて確認してください。

●放送大学附属図書館が提供するサービス（抜粋）



インターネット接続で下記の利用ができます。

- 1) 学内外の図書資料の検索
学内資料検索・・・OPAC、ディスカバリーサービスなど
学外資料検索・・・Webcat Plus、CiNii Books、NDL Searchなど（下記に用語説明あり）
- 2) 電子ブック・電子ジャーナル・各種データベース
- 3) 本部図書館所蔵の図書貸出し手続き

【図書資料検索ツール等の用語説明】

OPAC（オーパック）：本学附属図書館・各学習センターで所蔵する図書資料（図書・雑誌）を検索

ディスカバリーサービス（統合検索ツール）：本学附属図書館が所蔵する図書資料、電子ジャーナル、データベース等をまとめて検索

Webcat Plus（ウェブキャット プラス）：日本全国の大学図書館等が所蔵する図書・雑誌の所在情報データベース（国立情報学研究所が提供）

CiNii Books（サイニーブックス）：学術論文や図書・雑誌等の学術情報データベース（国立情報学研究所が提供）

NDL Search（国立国会図書館サーチ）：国立国会図書館をはじめ、全国の公共図書館、公文書館、美術館や学術研究機関等が提供する資料等を統合的に検索できるデータベース（国立情報学研究所が提供）

●授業への質問方法（授業内容に直接関わる学問的な内容に限ります）

- 1) 「学生生活の栞」の巻末にある質問票を放送大学本部学生課へ送付してください。
- 2) システムWAKABAの「授業サポート」に設けられている「質問箱」から送信してください。

●国立美術館キャンパスメンバーズ制度

学生証を提示 → 東京国立近代美術館、国立西洋美術館、京都国立近代美術館など6つの美術館では所蔵作品展を無料で、また、特別展・共催展は割引料金で利用できます。

●セミナーハウスの利用

セミナーハウスは、放送大学本部（千葉市美浜区）内にある宿泊施設で、公認の学生団体が行う課外活動又は学生個人が安価な価格で利用できます。使用手続きは「学生生活の栞」（大学院P108～/教養学部P116～）を参照してください。

※カリキュラム変更について（2015年度以前入学生の方へ）

2016年度にカリキュラム改正がありました。

2015年度以前入学生（2009～2015年度のカリキュラム適用）の方も手続きをすることで、卒業要件は「2016年度以降のカリキュラム」の適用を受けることができます。

「2016年度以降のカリキュラム」改正（卒業要件）の要点（外国語科目部分）

カリキュラム	【2009～2015年度】	【2016年度以降】
外国語科目	6単位以上修得	2単位以上修得

注意：1. 各コースとも同じ

2. 【2016年度以降のカリキュラム】への変更は、申込み時期がありますので学生生活の栞P53、P82を確認のうえ手続きをしてください。

システムWAKABA(教務情報システム)への接続について

(詳細は、学生生活の栞(大学院P103～/教養学部P109～)にも掲載しています。)

●システムWAKABAの入り方



①放送大学ウェブサイト
(<https://www.ouj.ac.jp/>) の「在学生(WAKABA)」の中の「システムWAKABA(教務情報システム)」をクリックします。

②放送大学認証システム画面からIDとパスワードを入力しログインします。
※ログインIDと初期パスワードは入学許可書に記載されています。不明な場合は学習センターへお問い合わせください。
初期パスワードは必ず変更してください。

●システムWAKABAの機能



学内リンク

- Web 通信指導
- Web 単位認定試験
- オンライン授業
- 放送授業のインターネット配信
- 過去の単位認定試験問題・解答等
- 面接授業のページ
- 新規開設科目印刷教材(試し読み)
- 放送大学自己学習サイト

教務情報

- 学生カルテ
(学籍情報・履修情報・単位修得状況情報等を確認)
- 変更・異動手続
(各種情報の変更等を申請)
- 履修成績照会
(履修した科目の成績を確認)
- 科目登録申請
(次学期の科目登録申請や登録申請済みの科目の内容の確認)
- 継続入学申請
(継続入学の登録申請)

キャンパスライフ

- 学内連絡
(大学・学習センターからの連絡の確認)
- 各種届出・申請様式
(様式をダウンロード)
- 附属施設・情報システム
(セミナーハウス予約など)
- 学内 FAQ
(学内のよくある質問と回答を掲載)

授業サポート

- 授業連絡
(履修する放送授業に関するお知らせ)
- 質問箱
(履修中の科目について教員へ質問を登録・回答を確認)
- 資料室
(授業・教材に関する各種資料をダウンロード)

パスワード変更

諸届けの提出先

●各種届出・変更願

	提出先等			提出期限等	
	教養学部生	修士全科生 博士全科生	修士選科生 修士科目生	2学期（10月1日） から変更する場合	1学期（4月1日） から変更する場合
住所等変更届※1	所属学習センター	本部教務課 大学院研究 指導係	本部学生課 入学・履修 係	随時提出	随時提出
	システムWAKABA			随時変更	随時変更
氏名等変更届※2	本部学生課 入学・履修係	本部教務課 大学院研究 指導係	本部学生課 入学・履修 係	随時提出	随時提出
学生証再発行願	所属学習センター			随時提出（再発行手数料500円）	
所属学習センター 変更願	本部学生課 入学・履修係	本部教務課 大学院研究 指導係	本部学生課 入学・履修 係	4月20日～8月10日	10月20日～2月8日
	システムWAKABA				
所属コース・専攻 変更願兼カリキュラム 移行届（審査あり）	本部学生課 入学・履修係 （審査あり）			4月20日～6月7日	10月20日～12月7日
	システムWAKABA				
所属プログラム変更願 （修士全科生のみ）		本部教務課 大学院研究 指導係		第1年次の12月末まで （研究指導担当教員と十分相談のこと）	
休学願・復学願	本部学生課 入学・履修係	本部教務課 大学院研究 指導係	本部学生課 入学・履修 係	4月20日～9月25日	10月20日～3月25日
	システムWAKABA			4月20日～9月30日	10月20日～3月31日
退学願	本部学生課 入学・履修係	本部教務課 大学院研究 指導係	本部学生課 入学・履修 係	9月30日に退学する 場合 4月20日～9月25日	3月31日に退学する 場合 10月20日～3月25日
	システムWAKABA			4月20日～9月30日	10月20日～3月31日

※1 住所等変更届には、住所、電話番号、メールアドレスの変更を含みます。

なお、住所を変更した場合は、郵便局にも転居届を提出し、郵便が届くようにしてください。

※2 氏名等変更届には、国籍の変更を含みます。戸籍抄本や免許証の写し等、変更前と変更後の氏名が確認できる書類の写しを添付してください。また、学生証再発行手続きを行ってください。

詳細は「学生生活の栞」（大学院P29～/教養学部P20～）の「変更・異動手続き受付期間一覧」等をご覧ください。

学生団体（サークル）活動

サークル活動を通して学生間の啓発、融和を図り親睦を深めることができます。

- ①サークル等を結成するときは「学生生活の葉」や下の※を参照し、手続きをしてください。
- ②サークルの会合等で広島学習センターの施設を使用する場合は、早めに願い出てください（1か月前から受け付けます）。
- ③広島学習センター各団体の活動概要等は以下のとおりです（2023年4月現在）。

団 体 名		活 動 概 要 等
学 生 団 体	あ ゆ み の 会	コンセプトは人生の充実。定例会は主に話題を捉えてディスカッション、時に唱歌・なつメロの合唱、花見・忘年会等も実施しています。
	I（アイ）クラブ	英語学習や会員のニーズに応じた多様な文化の学習・MLを利用した情報交換などを通じて、コミュニケーションの向上を目指しています。
	蛍 窓 短 歌 会	会員は毎月、自作短歌二首を提出し、提出歌のお互いの批評や講師の指導を受けます。また、現代短歌の鑑賞も行い、短歌の研鑽を深めています。
	IT(情報通信技術) 学習会ソクラテス	Excelの統計関数を用いて、Dataのバラツキ、Lorenz曲線とGini係数、大数の法則(Karl Pearson実験)、基本統計量、確率分布(ZScore)…や、PresentationSoft.PowerPointの学習を継続しています。
	自主ゼミ・読書会	課題図書を輪読し、それにより要約の作り方、発表の仕方、討議の仕方を研鑽し、さらに教養を高めることを目的としています。
同 好 会	俳 句 ク ラ ブ	ひとつの教養として俳句文芸に触れることにより、学生間の交流を密にして視野の広い豊かな学生生活に資することを目的としています。

※学生団体（サークル）の設立について

毎年度4月と10月に設立の申請を受け付けます。設立願、構成員名簿、規約等の書類を事務室に提出してください。大学本部での審査を経て設立が許可されます。構成員は学生10名以上が要件です。規約の作成等、申請準備に一定の時間がかかりますので、学生団体の新設を希望される方（代表者、責任者）は、早めに事務室に相談してください。

学習センター・サテライトスペース事業等

1. 公開特別講座

広島学習センター・福山サテライトスペース所属の客員教員が講師となり開講している出席自由の90分の講義（受講無料）です。

- ・卒業要件の修得単位にはなりませんが、多様な学問分野の研究に直接ふれることができる絶好の機会です。
- ・開催日時・テーマ等は、事務室の掲示板、学習センターのウェブサイト等で案内しています。
- ・一般の方の参加も自由ですので、放送大学での勉強に興味のある友達、知り合いの方々を誘って受講してください。
- ・参加申し込みは不要です。開講当日、開始時間前までに教室にお入りください。

2. 卒業研究事前支援

「卒業研究」は、全科履修生だけ履修できる選択科目で、所定の単位を修得した学生が1年間を通して指導教員の下で研究を進め、卒業研究報告書をまとめます。

本科目の履修は「研究テーマの設定」「資料収集」「論文の書き方」等幅広い準備が必要ですが、学習の集大成として「卒業研究」にぜひ取り組んでみてください。

この「卒業研究」を履修する前に、本学習センターの客員教員が専門領域を活かして、卒業研究の進め方等についてその手順等を事前に支援するのが「卒業研究事前支援」です。概要は次のとおりです。

I. 受講資格（対象学生）

広島学習センター及び福山サテライトスペースに在籍する全科履修生（卒業研究の履修者を除く）で、原則として、1年以上在学し31単位以上修得している者、又は編入学した者

II. 事前支援の開設・支援体制

- 1) 本センター客員教員が、それぞれの専門学問分野に基づいて開設する。
- 2) 開設時期は、原則として5月から8月、11月から2月（各学期4回）とする。
- 3) 開設曜日は、原則として土曜日又は日曜日とし、開設時間は1回90分とする。

III. 事前支援の申込み

事前支援の受講を希望する者は、所定の申込書を、第1学期は4月中旬、第2学期は10月中旬の別に定める日までに、開催場所の各事務室へ申し込んでください。

3. 学習相談

学習上の種々の相談は、学習センター客員教員が直接相談に応じます（申込みは事務室へ電話又は直接）。

4. 機関紙の発行

機関紙「往還ノート」を年間4回発行しています。「往還」とは行くことと帰ること、往復と同じ意味を持っていますが、「情報や意見を、楽しく交換できる広場になれば」との思いを持って発行をしています。学生や教職員から寄せられた寄稿をはじめ、お知らせ、広島学習センター、福山サテライトスペースのスケジュール等を掲載しています。

5. 諸行事

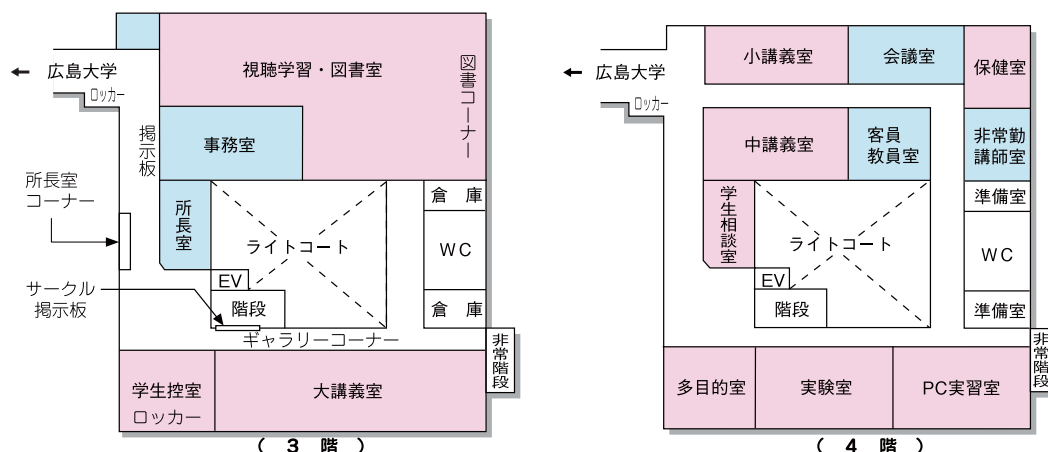
学生同士や教職員との交流を図るため、研修旅行、講演会、納涼会などを実施しています。

6. 施設使用

課外活動・グループ学習等のために、広島学習センター内の施設を利用することができます。

施設の案内

広島学習センター



視聴学習・図書室

放送教材（インターネット又はDVD・CD）を視聴する学習室です。利用方法は7ページ（視聴学習・図書室）を参照してください。

学生用のパソコンで、放送大学「システムWAKABA」、「OPACシステム」も使用できます。

図書コーナー

学習の参考とするための図書・各種辞典等を備えています。利用方法は8ページ（図書の利用）を参照してください。

講義室、実験室、PC実習室

各講義室等は、面接授業及び公開特別講座等で使用する教室です。

PC実習室のパソコン（20台）は、面接授業等で使用する場合を除いて使用できます。

学生相談室

客員教員等による学習上の相談・指導が受けられます。その際に使用する部屋です。

事務室

履修に関する相談、各種の事務手続き、諸証明の発行等を行っています。窓口で申し込んでください。

学生控室

食事、休憩等の場所として使用できる部屋です。

BSデジタル放送による放送授業番組の視聴もできます。

多目的室

サークル活動等で使用する部屋です。使用を希望する場合は早めに（1 か月前から受け付けます）空き状況を確認のうえ、「施設使用願」を事務室へ提出してください。

揭示板

授業、学習相談、その他のお知らせ・連絡事項等を事務室前の掲示板に掲示しています。
来所の際は必ず掲示の内容を確認してください。

また、大講義室前のサークル掲示板は、サークル活動等、学生間の情報の伝達・交換に利用できます。利用する学生団体は、事務室に掲示物を提出し、事前に許可を受けてください。（掲示期間は3週間以内です。）

ロッカー

視聴学習・図書室前及び学生控室等にあります。学習上必要な教材以外の所持品はロッカーに入れてください。ロッカーの利用は当日限りで無料です。

なお、貴重品は必ず身に付けてください。

ギャラリーコーナー

学生の皆さんから寄贈・貸与された書や絵画等を展示しています。

作品発表の場として活用してください。

所長室コーナー・・・・・・・・・・・・・・・・

所長からのメッセージやエッセイを掲示しています。

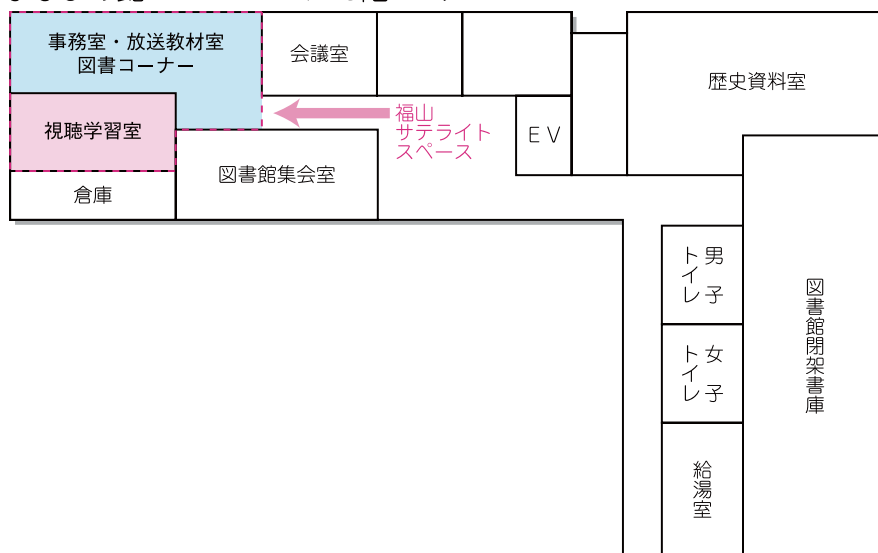
学習センターウェブサイトにも掲載しています。

※駐車場について

放送大学利用のための自動車駐車場はありませんので、公共交通機関を利用してください。

福山サテライトスペース

まなびの館 ローズコム 3階フロアー



事務室・放送教材室・図書コーナー・・・・・・・・・・

放送教材の室内貸出し、各種事務手続き、履修に関する相談等を行っています。
食事、休憩等の場所としても利用できます。

視聴学習室・・・・・・・・・・

放送教材（インターネット又はDVD・CD）を視聴する学習室です。

掲示板・・・・・・・・・・

授業・その他のお知らせ・連絡事項等を掲示しています。来所の際は必ず掲示の内容を確認してください。

ロッカー・・・・・・・・・・

学習上必要な教材以外の所持品はロッカーへ入れてください。ロッカーの利用は当日限りで無料です。なお、貴重品は必ず身に付けてください。

※駐車場について

まなびの館ローズコムの駐車場が利用できますが、有料のためできるだけ公共交通機関を利用してください。

案内図

広島学習センター

JR広島駅前（南口）から

●路面電車

広島電鉄「1 広島港（宇品）」行き（紙屋町東経由）で「日赤病院前」下車、宇品方面に徒歩3分（所要時間約30分）

●バス

広島バス「21-1 広島港（御幸通り経由）」行き、または「50アルパーク」行きで「日赤前」下車、宇品方面に徒歩3分（所要時間約20～30分）

JR広島駅（新幹線口）から

●バス

都市循環線「まちのわループ」左回りで「日赤病院前」下車。
宇品方面に徒歩3分（所要時間約20～30分）

JR西広島駅前から

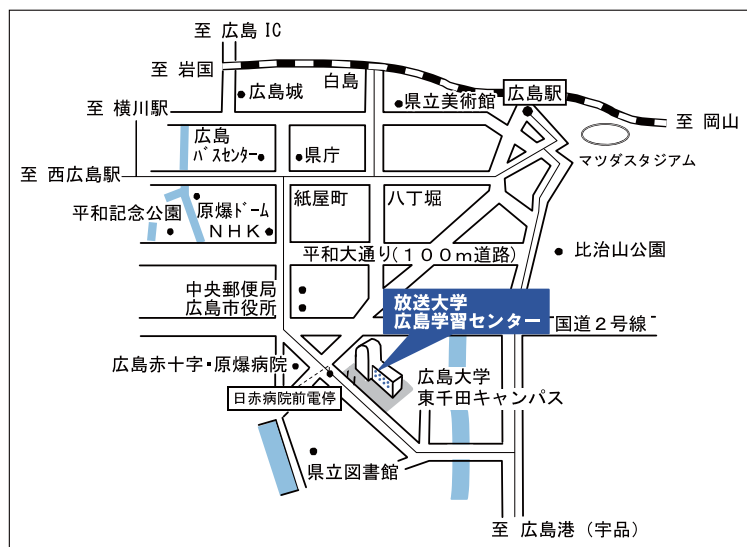
●路面電車

広島電鉄「3 広島港（宇品）」行きで「日赤病院前」下車、宇品方面に徒歩3分
（所要時間約30分）

JR横川駅前から

●路面電車

広島電鉄「7 広電本社前」行きで「日赤病院前」下車、宇品方面に徒歩3分
（所要時間約25分）



福山サテライトスペース

●JR利用

JR福山駅から南へ徒歩10分



庄原教室

庄原教室では、放送授業をノートパソコンで視聴することができます。ノートパソコンは庄原市田園文化センターの受付で学生証を提示して借りてください。印刷教材も配架していますので、ご利用ください。

〒727-0013 庄原市西本町2-20-10
庄原市立図書館
(田園文化センター内)



(庄原市ウェブサイトから転載)

●JR利用

JR備後庄原駅から南西へ約1.4km



2023年度カレンダー

第1学期

4 月 (April)		
1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	面接授業科目 空席発表(12時)
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	面接授業科目 追加登録開始
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	
29	祝	昭和の日
30	日	

5 月 (May)		
1	月	
2	火	
3	祝	憲法記念日
4	祝	みどりの日
5	祝	こどもの日
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	通信指導 受付開始 (WEB)
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	通信指導 受付開始 (郵送)
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	通信指導提出期限
31	水	

6 月 (June)		
1	木	
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	
25	日	卒業研究ガイダンス
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	

閉 所 日	毎月曜日 国民の祝日に関する法律に定める祝日 年末・年始（12月29日～翌年1月3日） 学長又は学習センター所長が特に必要と認めた日 （8月12日・13日・15日、12月26日～28日）
-------------	---

7 月 (July)		
1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	単位認定試験期間開始
16	日	面接授業科目 追加登録受付終了
17	祝	海の日
18	火	
19	水	
20	木	
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	単位認定試験期間終了
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

8 月 (August)		
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	
11	祝	山の日
12	土	臨時閉所日
13	日	臨時閉所日
14	月	閉所日
15	火	第2学期科目登録開始 臨時閉所日
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	第2学期科目登録締切（郵送）
31	木	第2学期科目登録締切（Web）

9 月 (September)		
1	金	
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	祝	敬老の日
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	
23	祝	秋分の日
24	日	学位記授与式・入学者の集い
25	月	
26	火	視聴学習・図書室 臨時閉室（～30日）
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	

第2学期

10 月 (October)		
1	日	大学院 第1次試験(筆記)
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	祝	スポーツの日
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	面接授業科目 空席発表(12時)
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	面接授業科目 追加登録開始
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

11 月 (November)		
1	水	
2	木	
3	祝	文化の日
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	通信指導 受付開始(WEB)
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	通信指導 受付開始(郵送)
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	
23	祝	勤労感謝の日
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	通信指導 提出期限
30	木	

12 月 (December)		
1	金	
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	閉所日
26	火	臨時閉所日
27	水	臨時閉所日
28	木	臨時閉所日
29	金	(年末閉所日)
30	土	
31	日	

閉 所 日	毎月曜日 国民の祝日に関する法律に定める祝日 年末・年始（12月29日～翌年1月3日） 学長又は学習センター所長が特に必要と認めた日 （8月12日・13日・15日、12月26日～28日）
-------------	---

1 月 (January)		
1	祝	元日
2	火	(年始閉所日)
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	祝	成人の日
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	面接授業科目 追加登録受付終了
15	月	
16	火	単位認定試験期間開始
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	単位認定試験期間終了
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

2 月 (February)		
1	木	
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	
11	祝	建国記念の日
12	月	
13	火	第1学期科目登録開始
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	
18	日	卒業研究成果発表会
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	
23	祝	天皇誕生日
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	第1学期科目登録締切（郵送）
29	木	第1学期科目登録締切（Web）

3 月 (March)		
1	金	
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	祝	春分の日
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	学位記授与式・入学者の集い
25	月	
26	火	視聴学習・図書室 臨時閉室（～31日）
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

放送教材（DVD・CD）の郵送貸出について

BS放送が受信できない又はインターネット環境がない等により放送授業を視聴できない場合には、放送教材（DVD・CD）を郵送にて大学本部から取り寄せることができます。

1 貸出しできる放送教材

(1) 学期の初めから単位認定試験期間終了まで

- ・履修している科目
- ・再試験を受験する科目
- ・特別講義

(2) 単位認定試験期間の翌日からその学期終了まで

- ・開講中（1学期は閉講後再試験科目を含む）の全ての科目
- ・特別講義

2 貸出し期間・貸出数

20日間、5枚以内。

※上記の日数には、放送大学本部からの発送日及び返却到着日を含みます。

3 貸出方法

放送教材貸出申込書を「郵送」又は「FAX」してください。「インターネット」による申込みもできます。なお、電話での申込みは一切受けません。放送大学本部からの郵送方法は第四種郵便のみとし、送料は往復分とも申込者（学生）負担となります。

4 放送教材の郵送貸出申込みから返却までの流れ

a 申込みに必要なもの

- i) 放送教材郵送貸出申込書（※申込書は、巻末の様式を使用、「学生生活の栞」の巻末の様式をA4に拡大コピー又はシステムWAKABA「キャンパスライフ→各種届出・申請様式」からダウンロードしてください。）
- ii) 送料分の切手（※郵便料金は料金表を参照してください。）
 - ・郵送申込みの場合：申込書と一緒に切手を貼付してください。
 - ・FAX申込みの場合：放送教材返送時に切手を同封してください。
 - ・インターネット申込みの場合：放送教材返送時に切手を同封してください。



- ### b 放送大学本部：学習センター支援室 放送教材郵送貸出担当から放送教材を発送
- ※申込受付順に放送教材を確認して発送します。



- ### c 視聴後、放送大学本部：学習センター支援室 放送教材郵送貸出担当へ返送
- ・郵送された際に同封されていた申込書のコピーも放送教材と一緒に返送してください。
 - ・新たに放送教材貸出しの申込みを行う場合は、新規に貸出申込書を作成し、送料分の切手を貼付してください。

第四種郵便（通信教育用）料金表

教材の枚数 目安 (DVD・CD共通)	重さ	第四種 郵便料金	速達料金 合計
1 枚	～ 100g	15円	275円
2 枚	101g ～ 200g	25円	285円
3 ～ 4 枚	201g ～ 300g	35円	295円（3 枚）
			385円（4 枚）
5 枚	301g ～ 400g	45円	395円

※送料は送付物の重さによって料金表と異なる場合があります。

※速達料金合計は第四種郵便料金を含んでいます。

※速達による郵送を希望する場合には、料金260円（250gまで）又は350円（1kgまで）の切手を追加し、郵送又はFAXによる申込みの場合には申込書の「速達希望」の「する」に丸印を付けてください。

注意事項

- ・ 発送作業は平日に行います（土・日・祝休日及び年末年始、特別整理期間は発送しません）。
- ・ 貸出した放送教材が返却されない場合や、教材の破損・紛失・料金不足等があった場合は、貸出禁止となることがありますのでご注意ください。
- ・ 送料分の切手と実際の郵送料に差額が多く発生した場合でも返金はありません。
- ・ 貸出した放送教材の複製および第三者への貸与はできません。
- ・ 返送期限日までに必ず郵送で返却してください。返却されるまでは次の貸出しができません。
- ・ 郵送申込みを第四種郵便で行う場合は、封筒のサイズを最小（縦14cm・横9cm）～最大（縦60cm・縦と横と厚さの合計90cm）に収め、封筒の糊しろ部分を3分の1程度切り取り、「文部科学省認可通信教育」と表示することで、重さ100g以内の場合、送料は15円となります。

5 申込み先：

(1) 郵送による申込み

〒261-8586

千葉県美浜区若葉2-11

放送大学 学習センター支援室 放送教材郵送貸出担当

(2) FAXによる申込み

FAX番号 043-298-4510

(3) インターネットによる申込み

https://www.ouj.ac.jp/hp/BorrowDVD_v01/

[illegible]

放送教材郵送貸出申込書（郵送・FAX用）

返却期限までに返却し、教材の複製、第三者への譲渡・貸与をしないことに了解の上、貸出の申請をします。

①～⑤にご記入ください。①は放送教材発送の送り状として使用します。丁寧な文字でご記入願います。

文部科学省認可通信教育	
①	〒 —
送付先住所	都 道 府 県
氏名	フリガナ 様

切手貼付欄【申込時に貼付】

切手を重ならないように貼付してください。
 ※切手の金額は下記の「料金表」をご参照ください。
 速達による郵送を希望する場合には、速達料金合計の切手が必要です。

※速達希望 [する/しない] に丸印をご記入ください。

②	学生番号				—					—		速達希望	する	/	しない
---	------	--	--	--	---	--	--	--	--	---	--	------	----	---	-----

③	科目名（貸出は5枚以内）	科目コード	回数
記入例	『方丈記』と『徒然草』（'18）	1554999	第 10 回
1			第 回
2			第 回
3			第 回
4			第 回
5			第 回

④	教材が貸出中の場合 (どちらかを必ず選択)	すべて借りられるまで待つ。	1枚でも構わないので借りる。 ※差額が多く発生した場合でも返金はできません。
---	--------------------------	---------------	---

[illegible]

◎第四種郵便（通信教育用）料金表

教材の枚数 目安 (DVD・CD共通)	重さ	第四種 郵便料金	速達料金 合計
1枚	～100g	15円	275円
2枚	101g～200g	25円	285円
3枚	201g～300g	35円	295円
4枚			385円
5枚	301g～400g	45円	395円

※送料は送付物の重さによって料金表と異なる場合があります。
※速達料金合計は第四種郵便料金を含んでいます。

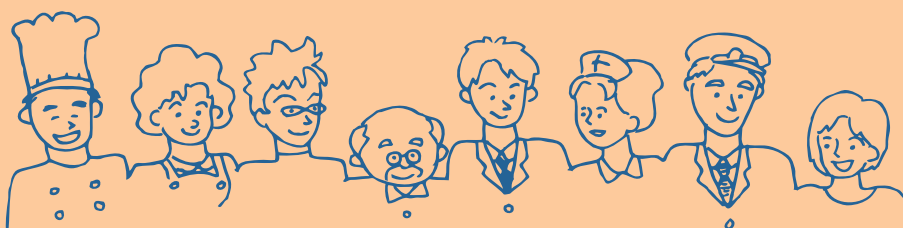
※放送教材郵送貸出担当記入欄（以下には記入しないでください）

貸出申込受付日	月	日	放送教材発送日	月	日
※返送期限：月 日（ ）までに 放送教材郵送貸出担当 へ必ず着くようにお送りください。					
	個別番号	ロケ番号			
1			受付番号		在籍確認
2			氏名		履修確認 様
3					
4			保留番号		
5					



1. 知識を吸収し、集約し、人格形成され、外に向かって上昇していくことを表す。
2. 多数の人々が教育を受ける機会を表す。
3. 白は知識の吸収を、ブルーは人格の形成を表す。

表紙：放送大学イメージキャラクター“まなぴー” 左：広島学習センター、右：福山サテライトスペース



広島学習センター

〒730-0053 広島市中区東千田町一丁目1番89号
(広島大学東千田キャンパス)

電話 082-247-4030 FAX 082-247-4461

福山サテライトスペース

〒720-0812 福山市霞町一丁目10番1号
まなびの館ローズコム3階

電話 084-991-2011 FAX 084-991-2012

URL <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/hiroshima/>
E-mail hiroshima-sc@ouj.ac.jp